

# 当初予算への 考えは

近藤 武議員



必要な部分に、しっかりと投資していく  
市長

**問** 平成31年度の主要施策は。

**答** 必要な分野へ重点化を進め、防災・公共施設マネジメント・子育て世代・観光振興・健康づくり施策を進める。

**問** 本市の観光拠点である道の駅「立田ふれあいの里」の課題と今後の取り組みは。

**答** 駐車場不足、施設の改修や充実が求められている。31年度は基本計画を策定していく。事業計画では、中長期的なものになるが、都市計画マスタープランへ記載して進める。

**問** 防災分野での、災害情報受信ツール追加事業とは、どういった事業か。

**答** 防災メールを利用できなかつた方へ、固定電話に音声での災害情報をお知らせ、ファックスによる文字で防災情報を受信できるシステムだ。

**問** 12月議会で、ごみに関する取り組みの中で、外国籍の方への対応として、ごみ分別アプリの導入を提案して、予算化されたが、その内容は。

**答** 英語、中国語、ポルトガル語、韓国語に対応し、ごみに関する情報発信だけでなく、市からのお知らせや災害時等の情報発信など、役立てるものにした。

**問** コミュニティ施設の予算増額の内容は。

**答** 防火・防犯に関するセキュリティ向上のため、管理人不在時に警備保障システムを導入して、運営してもらおう。

**問** 子育て施策の新規・拡充・充実事業とは。

**答** 新規として、不育症治療の助成をする不育症治療費助成事業。拡充事業として、一般不妊治療費助成事業。充実させる事業として、助産師を新たに配置しての産後ケア事業を展開する。



▲充実されるママパパ教室

**問** 当初予算について、市長の考え、思いは。

**答** 市の課題に向かって、準備及び備えをし、必要な部分には、しっかりと投資をしていく。今後、必要な公共施設の改修、建て替え等も非常に多くなってくるのが予想される。限りある予算の中、将来に引き継いでいくよう、市として事業展開をしていきたい。

## その他の質問

●公共施設の今後は